

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成20年6月16日
第736号

〒952-1209 佐渡市千種155

: 0259(63)4156 (☎) 4115 (代) FAX: 4117

<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/>

E-mail: kanai es@sado.ed.jp



新潟の梅雨入りはいつになるのでしょうか。遅れを取り戻すように一気に降る雨は困ります。期間は少々長くてもいいので、雨は少しずつ、適度に降って欲しいものです。

1学期もあと少し。一気に降る雨にならないよう、予定は少しずつ片付けていきたいですね。

教材・教具の大切さ

5月28日(水)に、第1回佐渡ことば・こころの教室の運営委員会が行われました。県内では、新潟、高田(上越)、三条について4番目に誕生した教室です。「すべては暗中模索。一番苦労したのは教材・教具で、保護者と話し合い、子どもと話し合っ一つ一つ手作り(後略)」と、開設当時の様子が記念誌「ことばとこころが磨かれるときー教室開設30年のあゆみー」に掲載されていました。

今ではたくさんの教材・教具が本教室には揃っています。また、知りたい情報はすぐに入手できる今の時代において、果たして自分は一人一人に適した教材・教具を用いて指導しているだろうかと考えさせられます。以前、教室開設時に指導にあたられていた計良益夫先生から、教材を選ぶ基準として、

意欲を育てるもの
思いやりの心を育てるもの
信頼関係を作るもの

という3つの観点を教えていただきました。

今年度のスタートにあたり、もう一度その原点に立ち返り、子どもたちの目が輝き、楽しんで取り組んでもらえる指導を目指したいと思います。

よろしく申し上げます。

(山口)



褒めること

指導の時にいつも心掛けているのが「褒めること」です。どんな小さなことでもよいところを見付けようと、自分をリセットするような気持ちで指導に臨みまです。私たちはとかく欠点に目がいきがちで、何かを教えなくてはという気持ちにとらわれやすいからです。

褒めることにはどんな効果があるのでしょうか。認められ嬉しくなる・自信をもつ・次の課題にも意欲がわいて頑張れる等があると思います。茂木健一郎著『脳を活かす勉強法』(2007年、PHP研究所)には、人の脳はある行動をとったあとにほめられるなどの“報酬”があると、その行動を繰り返したくなり、その結果、その行動に熟練していくとあります。褒めることは何よりも手軽で、非常に効果的な指導法の一つと言えそうです。

褒めるためには、何より私たちの“目”を鍛えておかなければなりません。子どもの言動をつぶさに見取り、すかさず褒める。真摯に、心から子どもの頑張りを褒める。そのために私たちは自身の研修を続けていかなければならないのだと思っています。

(金子)



親の会コーナー



会員の声 No.29

はじめまして

会員の皆様におかれましては、日頃からお世話になっております。今年度、親の会・会長を務めさせていただくことになりました。私自身このような大役は初めての経験で不安も多々ありますが、先生方・役員の方々・会員の皆様に助けをいただきながら頑張りたいと思います。

さて、5月10日には今年度最初の行事、親子レクレーション・親の会総会・通級説明会が行われました。

新たな役員も決まりましたので、紹介させていただきます。

副会長 個人名のため省略
会計 必要がある場合は、直接言葉の教室に
会計監査 問い合わせください。

親の会会長 橘 祐美子

これから学習会等幾つかの行事が予定されています。皆様の御協力をお願いいたします。

今後の予定

< 親の会学習会のお知らせ >

日時 7月12日(土)

13:00 ~ 15:30

会場 金井コミュニティーセンター

学習会

講師 社会福祉法人あおぞら共生会 副理事長
赤石 洋子 様

演題 「働く人に育てる子育て
~ 就労に向けて、今できること ~」

お知らせ



第1回運営委員会が開催されました

今年度第1回目の運営委員会が、5月28日(水)に金井小学校で行われました。限られた予算の中、今年度も事業の充実に向けて取り組むことになりました。

運営委員の皆様、どうもありがとうございました。

夏季相談会・夏季言語検査について

今年も夏休み中に、夏季言語検査、夏季相談会を行います。後日、各校、園あてに御案内を送付いたします。お子さんのことばやこころの問題について、希望される方はお申込みください。



子育て ワンポイントアドバイス その2

~ 子どもに「だめ」という場合 ~

「だめ」と感情を込めて、親がはっきりと言わなくてはいけないのは次のうちいくつあるでしょう。

「だめ、あぶない！」

「立っちゃだめ。座りなさい。」

「だめ、それじゃちゃんとできないでしょ。」

「だめ、怒った声で言わない。怖いよ。」

「だめ、そんな言い方しては相手が悲しくなる。」

「だめ、そんな考え方はおかしい。」

正解は だけです。子どもへのことば掛け、気を付けたいものですね。